

令和元年度大阪府立大学校友会第2回理事会議事録

令和元年度大阪府立大学校友会第2回理事会が、令和元年12月1日（日）午前11時より、「I-site なんば」にて校友会評議員会と同時開催された。

議事に先立ち、事務局から理事会の成立要件を満たしている旨の報告があり、理事会の成立を確認した後、津戸会長の挨拶があり、津戸会長が議長となって議事に移った。

《議事》

1. 新大学基本構想について

新大学設置準備室の天満課長から資料1に基づき、説明された後、意見交換がなされた。

2. 役員の交代について

議長から資料3に基づき、役員の交代について提案がなされ、原案の通り了承された。

3. 第10回ホームカミングデー ウェルカムパーティについて

事務局から、資料4に基づき、令和元年11月3日に実施した第10回ホームカミングデーの開催結果及び課題（若手の参加者が少ないなど）について報告がなされた。

津戸会長からは、ウェルカムパーティの会場である体育館使用について、改修後の新体育館は、養生シートを敷くと床面に傷がつくため今後は使用できなくなった旨の説明があり、来年度のウェルカムパーティ会場については、どこで開催できるか今後検討することとなった。

（意見）


- ・総リハ、看護の卒業生の参加が少ない中、看護大学は平成6年に設置され、卒業生も比較的若いので、白鳥会（看護学系同窓会）や竹羽会（総リハ理学療法同窓会）などの同窓会と話し合っ、羽曳野キャンパスの卒業生を呼び込む企画ができれば、もっと若手の参加が増えるのではないかな。

4. その他

議長から、今回の理事会議事録署名人として、浅井克仁副会長及び北島哲夫理事が指名された。

《議事録署名人》

大阪府立大学校友会理事会議長（会長）

津戸正宏 

大阪府立大学校友会副会長

浅井克仁 

大阪府立大学校友会理事

北島哲夫 